

# しまだいい便り

大学の旬な情報をお届け

島根大学が学内外問わず行っている多彩な活動の中から大学の今がわかる選りすぐりの情報をお伝えします。

## 1 3年ぶりに全入学生が対面で出席 令和4年度島根大学入学式を挙行



4月4日(月)、令和4年度島根大学入学式をくにびきメッセにて執り行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、来賓や保護者のご臨席を制限し、内容を縮小した式次第となりましたが、平成31年度以来3年ぶりに全入学生を出席者とした式典となりました。



服部学長は式辞の中で、「島根大学での生活全てが皆さんの目標や、夢の実現に向けて学ぶ場となる。多彩な教育プログラムを活用して、皆さんが持っている『学びのタネ』を大きく育てながら深く、幅広い学びを行っていただきたい」と激励を述べました。  
式では入学生代表の加藤露羽さん(生物資源科学部)から宣誓書が読み上げられるとともに、お手本となる先輩として、全国規模のピアノコンクールで優秀な成績を収めた金森愛さん(教育学部2年)の表彰が行われました。

## 4 地域や社会の期待にこたえる教育・研究を推進 2つの新センターを設置



島根大学では、令和4年4月に観光業界を中心とした地域産業への貢献や観光人材育成などを目指す「国際観光教育推進センター」及び、新型コロナウイルス感染症などに対する国産のワクチン・治療薬の開発拠点となる「新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター」を新設しました。両センターの概要と今後の取組みについて、4月13日(水)に記者会見を実施しました。

「国際観光教育推進センター」については、増永二之センター長より、今後の山陰地域の活性化に観光が果たす役割は非常に大きいことから、観光資源に恵まれた島根県にある国立大学として、それら資源を活かした特色ある教育を展開していきたいとの説明がありました。

「新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター」については、鬼形和道センター長及び浦野健副センター長より、本センター開設によって既存のRNAワクチンとは異なる機能の次世代ワクチン及び治療用抗体の開発から品質評価、製品化までを加速化させていきたいとの説明がありました。

島根県に立地する総合大学として、今後も地域や社会の期待にこたえる教育・研究を進めていきます。

## 2 本学の留学制度や研修の情報を広く発信 しまだいい留学WEEKを開催



5月16日(月)〜20日(金)の5日間、「しまだいい留学WEEK」を開催しました。本学の海外留学制度や海外短期研修プログラム等の情報を広く発信し、入学後の早い段階から海外留学や国際交流に目を向けること及び海外へ渡航する日本人学生の増加を目的として開催したものです。期間中は、海外留学制度や各国オンラインツアー、留学情報に関する展示、各学部等のイベントなどが毎日実施されました。

## 3 日本海交易における出雲と各地との交流に迫る 古代出雲文化フォーラムⅨを開催



3月5日(土)ライブ配信にて、「古代出雲文化フォーラムⅨ」を開催しました。第一部では、国内外の「海商」たちの動きや中世になり発展した海水運、島根県内で出土した大陸からの陶磁器など日本海交易の拠点だった出雲と各地とのグローバルな交流史について、3名が講演を行いました。第二部では島根大学の取組みとして、「次世代たたら協創センター」で推進する最先端の金属材料研究等について講演を行いました。

## 5 理系研究室紹介動画を公開中！ 理系研究室で学ぶ女子学生からメッセージ



SAN INダイバーシティ推進ネットワークでは、連携4機関(島根大学、島根県立大学、松江工業高等専門学校、米子工業高等専門学校)の理系研究室紹介動画を公開しました。理系研究室で学ぶ女子学生から、「自分が出会ったこと」「目指すこと」をテーマに研究室の魅力、進路選択、先輩へのメッセージを発信しています。ぜひ学生が生き生きと活躍する研究室をご覧ください。

動画は「島根大学 YouTube チャンネル」で公開中。  
QRコードからご覧ください。



## 6 エスチュアリー研究センターの仲村康秀特任助教 日本プラントン学会の論文賞を受賞



3月20日(日)に、エスチュアリー研究センターの仲村康秀特任助教が、日本プラントン学会の2022年論文賞を受賞しました。日本で2番目に大きい湖である茨城県の霞ヶ浦には、イサザアミという微小な甲殻類が生息しています。本研究では、この種の餌資源を多角的に分析しました。顕微鏡観察、DNAおよび同位体など、長所・短所の異なる様々な分析方法を組み合わせて生物の食性を解明した点も評価されました。

### 読者の声 Voice

- 広報しまだいい vol.51に寄せられた声をお届けします。
- 卒業生のその後など、これから入学したい高校生にもっと参考になるようにアピールしてほしい。(島根県出雲市・70代男性)
- 高齢化の社会。特に島根県は多いので、歩行車の研究開発、高齢者の移動支援にはおおいに期待しています。(島根県隠岐郡・70代女性)
- 広報手段としてSNSを活用して島根大学や研究等のPRに務めているのがステキです!(兵庫県姫路市・50代女性)
- 大学での研究がどのように地域社会に貢献しているのか今後も発信していただきたい。(島根県隠岐郡・20代女性)